

川 下

環境考えた消費学ぶ

有志が講演会実行委を設立

【下川】「私たちの生活とボルネオの森」

講演会実行委員会（仮称）の設立会議が、七日午後七時から八ピネスで開かれた。

昨年、町は環境モデル都市推進で住民の意見を聞くために町民会議を設立。同会議委員には町から会議報酬が支払われるが、委員から「報酬を使って、環境のために何かできる

いが少ない時代だった地区以外で農地を益を拡大する中で少分の農地を増やし、

ことをしませんか」との意見があった。

同会議委員の瀬川悦弘さんは「ボルネオ保全トラスト事業責任者の坪内俊憲さんの講演を聴き、アブラヤシの油脂（パーム油）は、

安価で分解が早く、人体にも環境にも負荷が少ない原料として多くの生活用品に使われているが、拡大するアブラヤシ農園によってボルネオの熱帯雨林が急速に失われていることを知った。そこで、人と自然が持続的に共生できるよう、上手に利

用する社会のシステムが必要と坪内さんを講師に講演会を開き、買

い物をするときに環境に配慮した製品や生産者を選ぶことで守られる自然があることを訴えたい」と提案。

協力者を募り講演会の実行委員会を設立した。

設立会議には、実行委員会メンバー十六人中十二人が参加し、講演会の内容や運営方法などを決めた。

講演会は、坪内さんを講師に来年二月十四日午後六時半から恵林

館で開催。参加費はボルネオ無農薬茶とフェアトレードバレンタインチョコ付きで五百円とする予定。参加費の一部はボルネオ保全トラストに寄付する。

講演会資金は、賛同

した同委員有志の会議報酬と町のマイプランマイスタディ事業の申請をして集める計画。詳細は今後、メンバーで意見交換をして煮詰めていくことにしている。



町民16人で設立した講演会実行委員会